



かえでだより ラグビースクール

NO. 16

通巻 NO. 20

平成 23年 1月

文責 望月大和

甲府市和戸町688-5

TEL 055・237・9770

賀 春

歳月の中に立っていると
風が からだの中を通りぬけてゆく
歳月の中に立っていると
美しい夜明けが からだの中を通りぬけてゆく
歳月の中に立っていると
ささやかなめざめが からだの中を通りぬけてゆく

流れゆく新しい歳月の中に
光がめざめ いのちがめざめる
風がめざめ 哀しさがめざめる
雲がめざめ 優しさがめざめる
言葉がめざめ 愛がめざめる

二〇一一年
ここに語りかける言葉
見落としてしまった言葉
本当の思いを、めざめを探していきたい。

本年もよろしくお願い申し上げます。

山梨県甲府市和戸町六八八-五
望月大和

あけましておめでとうございます。かえでラグビースクールも年首を迎えました。みんなの力を合せ、素晴らしいチームになるよう、お互いに努力をしましょう。

●ラグビーはチーム力をいちばん大切にするスポーツです。かえでのラグビーはできるだけ(身体接触のとき危険のない範囲で)相手の力を外し一緒に練習をさせたいと思っている。相手の力を予則して、とりやすいパスを出す、小さな子どものことをちゃんと考えられる子ほど、ラグビーはうまくなる。

●私は、ラグビーの練習以外にも多くの行事を、かえでの活動の中に取り入れたいと思っている。多くの人と触れ合い、自ら動くことを通して、人間として成長できる、そのことが少耳をラグーマンとして導いていく。

●ラグビーに限らず、試合では練習したような場面はほとんどな

い。言われた通りのことしかできない子が試合で対応できないのは当たり前だ。状況の変化に対応するには子ども自身が自分の頭で考え判断しなければならない。何から何まで世話を焼いて、子どもに考える場(余裕)を与えないのでは、伸びしろ(心)をゆがゆがとつんでいるようなものだ。このことを多くの大人にゆかつて欲しいと思っている。

●スポーツがうまくなるには、基礎・基本が大切だとしきりに言われる。でも、きまりきった型通りの練習をくり返しても、実際の試合では、ほとんど対応できない。実戦では仲間の位置を見てどこにパスをするのか、どんな強さならつながらるか、専らを瞬時に判断する力が求められる。それには自分で判断する経験を重ねるしかない。

●かえでのコーチが大事にしていることは、子どもが本当に楽しんで練習をやっているか否かということだ。楽しければ真剣になるし、自分で工夫もある。それがうまくいけば、ますます楽しくなる。仲間と考えたことが成功すれば最高だ。失敗すれば別のやり方をやればいいといった感覚も身につく。子どもが自分で考えられるような環境をとこのえるのが大人の仕事だと思ふ。

●スクールの理念 ゆれゆれが求めているのは、選手であるまえに、まず人間であるということ。お互いに相手を尊重し、みんなと、息の長い、どっかいラグビー集団をつくらう。そのためにはラグビー精神をたっぴ、より良きスクールの姿を求めて努力をし続けよう。一人ひとり、優しい心とたくましい身体を持てるよう頑張ろう。

●チームの目標 勝つことも大きな目標だが、ただ単にそのことだけにこだわることなく、ラグビーを通して豊かな人格の育成に心がけよう。またゲームにおいては、冷静な判断力とゲームをみつめる目、そして燃える心を持ち、相手チームから学ぶ姿勢を持つよう。

●ラグビーの原理 個々の構成要素を無造作に集めても、ラグビーのゲームは成り立たない。ラグビーはパスをする運動であり、その中でリーマーカーの選手をつくり、トライに結びつける。実際のゲームの全体像を把握し、創造的な練習を心がけよう。

